

変革・創造・実践

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2013
July
No. 136
7



JA全農ぐんま



私たち全農グループは、生産者と消費者を
安心して結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき 7

営農総合支援センター

- 野菜の生産拡大のための取り組み支援
- JA 営農経済渉外活動の導入・実践にともなう総合的な支援
- 担い手支援のための取り組み
- 食の安全・安心対策への取り組み

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良 E T 卵産子の活用促進)

米麦特産課

- こんにゃく推進セット夏季特別推進
推進目標 25,000 ケース
(平成25年 7月1日～8月31日)
- 「大麦製品」(麦とろ麺) 愛用運動
推進目標 10,000 ケース
(平成25年 7月1日～9月30日)
- こんにゃく荒粉・精粉販売推進 (入札の実施)
- 夏季掃立指導、繭集荷推進
- 椎茸等ほだ場診断及び活着診断

園芸部

園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 共計赤じそ販売 (7/月上旬迄)
- 共計県統一規格きゅうり販売 (7/末日迄)
- 共計バンダム販売 (7/末日迄)
- 共計枝豆販売 (8/末日迄)
- 共計にがうり販売 (9/末日迄)
- 共計オクラ販売 (9/末日迄)
- 共計みょうが販売 (9/末日迄)

販売促進課

- 夏秋野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 漬物類・こんにゃく類販売促進
- 花き類販売促進

園芸資材課

- 夏用出荷資材予約・当用推進

- (キャベツ・トマト・なす等)
- 青果物用予冷库推進 (サンヨー)
- 低コスト段ボール
(A K ライナー・ノンステーブル段ボール) の推進
- ハウス用更新資材戸別推進 (農ビ・農ポリ等)
- ネポン暖房機第2期推進
- 秋まき用種子推進
(ブロッコリー・ほうれん草・きゅうり等)

生産資材部

花木流通センター

- 売出し・フェアの実施
☆花木流通センター
7月5日(金)～8日(月) 恒例 夏の大売出し
☆愛菜館
7月8日(月)、18日(木)、28日(日)
8の日 お米特売
- 造園工事推進

肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進

農業機械課

- アグリマシンフェア2013開催
7月13日(土)～14日(日)

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 生花利用拡大運動推進 (周年)
- 「上州もみ切りうどん」・
「四季のめん詰合せ」推進 (6月～7月)
- 高崎ハムお中元ギフト・関連商品推進 (6月～8月)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産「新築そっくりさん」推進 (周年)

自動車燃料部

ガス課

- 平成25年度ガス器具特別推進
- ふれあい訪問活動推進
- 大型給湯器特別推進



い け だ か ず ま
池田 一真

●畜産農産部 東部酪農センター

- ①家畜診療・牛群検定・乳質指導
- ②音楽鑑賞・ギター演奏が趣味といえるようになるため、気が向いたときに練習しています。
- ③何事も慎重に…
- ④きゆうり…顔が長いところです。
- ⑤まだ仕事に慣れず半人前ですが、日々多くのことを学び、早く組合員の方々のお役に立てようになりたいです。



さ と う ひ ろ き
佐藤 裕紀

●群馬県営農総合支援センター 生産振興課

- ①野菜の生産振興推進（西部・北部地区担当）、農産物の安全・安心対策、営農経済関連情報の収集・発信（営農経済トピック）
- ②スポーツ観戦・旅行
- ③七転び八起き
- ④うど…「うどの大木」と散々言われてきたからです(笑)
- ⑤まだまだわからないことばかりですが、日々の業務に意欲的に取り組み、多くの知識を身に付け、一日でも早く組合員の皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいです。



な か し ま わ た る
中島 渉

●生産資材部 花木流通センター

- ①園芸資材館においての商品の受注・発注・品出しや、肥料・農薬等の知識習得
- ②スポーツ・映画鑑賞・音楽・旅行
- ③為せば成る、為さねば成らぬ何事も
- ④じゃがいも…丸いから…。「ごぼう」になれるように頑張ります!!
- ⑤組合員、お客様1人1人のニーズに合った商品説明が出来る人材に成長したいと思います。何事も一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。



ま つ だ
松田 こずえ

●管理部 経理システム課

- ①未収金の管理
- ②料理・買い物など
- ③いつも心に太陽を♪
- ④アスパラガス…ひょろっとした感じが似ているかなと思いました。
- ⑤今はまだ教わることばかりで勉強の毎日ですが、早く覚えて進んで仕事ができるようになりたいです。もっと経理の知識を身につけ、皆さんのお役にたてるよう頑張ります！どうぞよろしく願いいたします。



み や の ま さ し
宮野 雅史

●園芸部 園芸販売課

- ①青果物の概況管理・分荷作業（担当品目：チンゲン菜 担当地区：中部）
- ②野球・旅行
- ③日々前進
- ④なす…以前、友人から「なすっばいね」と言われたことがあるからです（笑）
- ⑤1日も早く仕事を覚えて、周りの先輩方に少しでも近づけるように頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。



や ま だ の ぶ た か
山田 文貴

●生産資材部 農業機械課

- ①製品受渡業務全般・農機課倉庫管理
- ②サッカー・フットサル・これからゴルフ！
- ③一期一会
- ④小かぶ…なんとなく似ている気がします（笑）
- ⑤一日でも早く業務と製品を覚え、毎日笑顔で元気に頑張っていこうと思います。よろしくお願いいたします。



畜魂祭
(6.3 群馬県食肉卸売市場)

■多くの家畜に感謝し供養

6月3日(月)、群馬県の安全・安心な食肉を消費者に届けることにより本県畜産の振興に寄与している(株)群馬県食肉卸売市場で、多大な貢献をした家畜に感謝し、その魂を供養する「畜魂祭」が行われました。長岡会長は挨拶で、「畜産を取り巻く状況は厳しいが、高度な衛生管理で今後とも安定的な生産を行っていききたい。」と述べました。式典には、県内の肉豚及び肉牛の生産者も参加し、家畜に対する慰霊と本県畜産のますますの発展を祈念しました。



緑のカーテン講習会
(6.8 花木流通センター)

■緑のカーテンでエコな暮らしを

6月8日(土)、花木流通センターで「緑のカーテン講習会」が開催されました。今回は、ゴーヤ・西洋アサガオ・フウセンカズラの3種類を例に挙げ、実演を交えながらの講習となり、参加者はメモを取りながら質問をするなど熱心に受講していました。支柱やネットの取り扱い方などを基礎から丁寧に指導するこの講習会は、好評だった昨年に続き2回目の開催となりました。花木流通センターでは、このような役立つ講習会を定期的に開催しています。



収穫体験
(6.10～11 花木流通センター)

■立派な野菜に大興奮

6月10日(月)、花木流通センターでは食育教室の一環として、地域の保育園児を対象とした野菜の収穫体験を行いました。キャベツ・ブロッコリー・たまねぎを楽しそうに収穫している姿を見て、「普段はおとなしい子が、大きな声で笑っていました。子供たちにとっては、特別な時間のようです。」と保育園の先生。翌日11日(火)には、親子を対象とした収穫体験も実施され、家族一緒にジャガイモの収穫を体験しました。



JAはぐくみ西部給油所竣工式
(6.15 JAはぐくみ西部給油所)

■セルフ給油所としてリニューアルオープン

当県本部が施主代行を務め、今年3月よりセルフ化工事を行っていたJAはぐくみ西部給油所の完成を祝い、6月15日(土)、竣工式が執り行われました。式典には、当県本部の須藤本部長を始めとする職員も出席し、式典終了後にはテープカットを行いました。同月20日(木)～23日(日)の期間にはオープンイベントを開催。多くの人で賑わいを見せました。



全農群馬県本部牛乳共販委員会
平成25年度全体会議
(6.13 JAビル)



そば打ち講習会
(6.23 愛菜館)

■安全・安心な生乳生産の維持と 経営安定を図る

6月13日(木)、系統農協による牛乳共販を推進し、県下酪農家の自主性の高揚と酪農経営の確立を図ることを目的に組織されている、全農群馬県本部牛乳共販委員会は「平成25年度全体会議」を開催し、県内各地区の委員会から多数の委員が出席しました。挨拶に立った長坂会長は、「年に一度の機会。積極的に意見を交換して欲しい。」と挨拶し、上程された議案は全て可決承認されました。

■手作りの味を楽しもう

6月23日(日)、愛菜館において「そば打ち講習会」が開催されました。この講習会は2ヶ月に一度行われており、消費者へ県産のそば粉を使用したそばの打ち方を教えます。店内での開催となるため、定員は午前(経験者の部)と午後(初心者の部)の各3名ずつと少人数制。参加者からは、「自分で作るのは難しいと思っていたが、やってみると楽しい。家でも挑戦してみたい。」との声。丁寧な指導が人気で、女性だけでなく男性の参加者も多いとのことでした。

■更なる保安の高度化を促進

JAグループでは、「クミアイプロパンふれあい訪問活動」としてお客様のお宅を訪問し、ガス器具の無料点検・販売を行っています。6月25日(火)、ガス課では同活動の研修会を開催し、JAの担当者へ情勢報告や活動要領についての説明を行いました。平成25年度の活動期間は7月～12月までの6ヶ月間で、目標訪問件数は7,000件とのことです。研修会終了後には、前年度の実績報告が行われ、奨励担当者へ記念品が贈呈されました。



平成25年度
クミアイプロパンふれあい訪問活動研修会
(6.25 ガス課)

みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

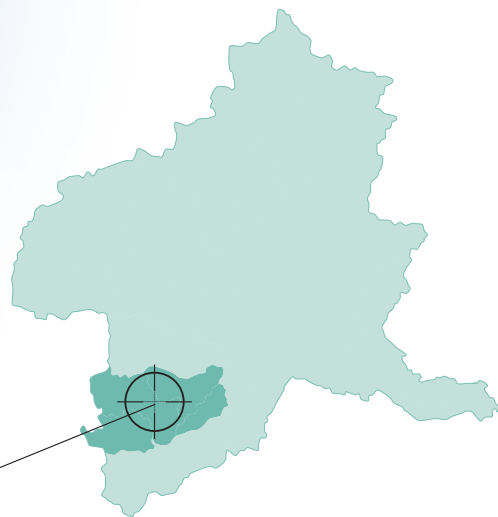
番組名/提供	放送日 ※再放送日	時間
元気いっぱい! かぶらの夏野菜/ JA甘楽富岡	7月29日(月)	PM 9:00～9:30
	※ 8月4日(日)	AM 8:00～8:30
日本一! 婦恋高原キャベツ/ JA婦恋村	8月5日(月)	PM 9:00～9:30
	※ 8月11日(日)	AM 8:00～8:30



三隅 有里子アナ

農業 チャレンジャー

JA甘楽富岡



食の大切さ伝えたい

JA甘楽富岡管内 高野 一馬 さん



高野 一馬 (たかの・かずま)さん

1982年生まれ、30歳。
宮城県出身。
露地なす・下仁田ねぎ・長ねぎ・レタス・加工用トマトを栽培。
栽培面積：90a
趣味：釣り

人生を変えたアフリカでの ボランティア活動

今回のチャレンジャーは、就農5年目の熱意あふれる高野さんです。宮城県出身の高野さんは、大学を卒業後にJICA（国際協力機構）ボランティアに参加。青年海外協力隊として活動するにあたり、富岡市で6ヶ月間の農業技術研修を受けた後、アフリカのモザンビーク共和国へ渡りました。「ボランティアとして現地で農業指導を行う中で、食べることの重要性を改めて感じたんです。帰国後は自然と農業の道へ進もうと思いました。実家が非農家の自分にとって、研修先として縁があったJA甘楽富岡管内へIターンし、2年間の見習い期間を経て今は独立し立ちしています。」と話してくれました。

周囲の支えがあってこそ

独立し経営者として走り出して3年目。現在は、露地なす・下仁田ねぎ・長ねぎ・レタス・加工用トマトの栽培を行っているそうです。「経営者としての知識や経験もなく、農業の難しさや厳しさ

を痛感した時もありました。そんな自分がここまでやってこれたのは、周囲の皆さんのおかげです。1人だけど1人じゃない。たくさんの人に助けられて今があるんです。」と高野さん。現在も同年代の就農者を集めて情報交換をするなど、地域の方と交流を図る機会を大切にしているそうです。

確固たる理念と将来のビジョン

高野さんに今後の展望を伺うと、「アフリカでは、食べたくても食べられない人達がたくさんいます。日本では当たり前のことが、当たり前ではないのです。厳しい現状を目の当たりにしたからこそ、これからも農業を通じて多くの人に『食』の大切さを伝えたいと思っています。また、将来的には、農業に興味のある若者や海外研修生の受入れなども行いたいと思っています。今度は自分がより良い経験の場を提供することで、地域と農業に貢献する番です。その為にも、今は一生懸命やるだけです。」と話してくれました。

様々な経験を重ね、強い信念をもって農業に従事している高野さん。今後の活躍が期待されます。



- 1 今の時期は、主になすの収穫・管理を行っている。
- 2 もともと体を動かすことが好きな高野さん。農業以外の道は考えられなかったそう。
- 3 丹精込めて作ったなす。今後は、苗作りや土作りにもこだわっていきたいと話す。
- 4 なすの圃場。現在はパート1人と共に2人体制で作業を行っている。



がんばってまーす!

INTERVIEW

JA婦恋村 千俣支所

熊川 基彦さん

Profile

くまがわ もとひこ (32歳)

趣味..... スポーツ・映画鑑賞

好きな食べ物..... キャベツ

嫌いな食べ物..... セロリ・ミョウガ

●職場の皆さんから見た熊川さん

「自分達がミスをして迷惑をかけた時も、優しくフォローしてくれる頼りがいのある先輩です!うちの購買事務所にはかせない存在ですね!」

「組合員の方と協力し合い地域に貢献」

——どうしてJAで働こうと思ったのですか?

親戚が農業を営んでいたこともあり、幼い頃から親しみのあったJAで地域に貢献した仕事がしたいと思ったからです。

——実際に働き始めてみてどうでしたか?

改めて、「夏秋キャベツ生産量日本一」の凄さを感じました。

——現在の仕事内容を教えてください。

キャベツの圃場巡回や予冷库での品質チェックなど、営農指導や購買業務を行っています。何よりも組合員の方とのコミュニケーションを大切に、お互いに情報交換をすることで、より良い経営を目指しています。まだまだ教わることも多いですが、頼りにされた時は嬉しいですね。

——他にも米麦の品質検査を行う「農産物検査員」の資格も

持ちだそうですね。JA農産物検査員鑑定技術コンテストで全国大会にも出場したと聞きました。素晴らしいですね!

ありがとうございます。これからも技術向上を目指して頑張りたいです。

——やはり好物はキャベツとのことですが、おすすめの食べ方はありますか?

千切りにしたキャベツの上にツナマヨをかけると最高に美味しいです!

——スポーツは何をされているのですか?

中学・高校はテニスを、現在はゴルフやスノーボードですね。もともと体を動かすことが好きなので、今年はトレッキングに挑戦してみようかと思っています。

——最後に、今後の意気込みをお聞かせください。

毎年同じ条件でキャベツができるわけではないので、日々の管理や天候チェック・情報収集はとても重要です。今後も組合員の方と力を合わせ、安全・安心・新鮮な婦恋高原キャベツの安定生産と一層の消費拡大を目指します。また、当JA管内では若手就農者も多く活躍しています。同年代の若い力で地域を活性化させていきたいですね。

熊川さん、お忙しい中ありがとうございました。

▼新鮮な婦恋高原キャベツ



畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は6月25日に5月の牛乳乳製品統計を公表した。5月生乳生産量は67万1,097tで前年同月比0.0%の減となった。北海道は34万2,859t（前年同月比1.0%増）で生産量の全国シェアは51.1%となった。

都府県の生産量は32万8,238tとなり、前年同月比で1.1%減少した。

■販売及び乳製品情勢

5月の用途別処理量は、牛乳等向けが34万6,307t（前年同月比1.2%減）、乳製品向けが32万0,073t（〃1.3%増）となった。飲用牛乳等生産量は30万4,803kl（〃1.6%減）で前月から0.6ポイント増加し、内牛乳が26万4,883kl（〃0.2%増）、さらに乳飲料は11万9,152kl（〃4.7%増）で前月より1.3ポイント増加した。

生乳生産量と用途別処理量

（単位：t、%）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
生乳	全	644,121	594,620	664,447	650,222	671,097	
生産量	群馬(委託実績)	18,743	17,425	19,910	19,599	19,959	
	本会(委託実績)	5,725	5,354	6,125	6,558	6,640	
用途別	飲用牛乳等向け	320,541	301,201	320,571	324,209	346,307	
処理量	乳製品向け	318,662	288,565	339,160	321,246	320,073	
	その他向け	4,918	4,854	4,716	4,767	4,717	
前年対比	生乳生産量(全国)	99.7	96.8	99.7	100.1	100.0	
	〃(群馬)	99.2	95.5	99.5	100.1	99.8	
	〃(本会)	97.3	93.2	96.1	105.7	106.4	
	飲用牛乳等向け	98.5	93.2	98.0	98.9	98.8	
	乳製品向け	101.0	100.9	101.4	101.4	101.3	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
							3,224,507
							95,635
							30,401
							1,612,829
							1,587,706
							23,972
							99.3
							98.8
							99.7
							97.5
							101.2

肉牛情勢

肉牛枝肉相場（7月予想） 素牛不足を背景に出荷頭数が減少しており底堅い見通し。輸入量が大きく増える見込の米国産との価格競合でやや下げの見方もある。

肉牛枝肉相場（予想）

和牛去勢A5	2,150円中心	和牛去勢A3	1,750円中心	交雑去勢B3	1,150円中心
和牛去勢A4	1,900円中心	和牛去勢A2	1,430円中心	交雑去勢B2	1,100円中心
		交雑去勢B5	1,640円中心	乳牛去勢B2	790円中心
		交雑去勢B4	1,340円中心		

枝肉価格の推移（群馬県食肉卸売市場）

（単位：円/kg、税込み）

年・月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均・計
和牛去勢A4	24年 1,551	1,467	1,537	1,604	1,641	1,665	1,629	1,590	1,649	1,682	1,776	1,867	1,638
	25年 1,695	1,750	1,785	1,749	1,829	1,901							1,785
	前年格差 144	283	248	145	188	236							147
和牛去勢A3	24年 1,314	1,230	1,334	1,393	1,482	1,476	1,445	1,349	1,419	1,495	1,592	1,707	1,436
	25年 1,585	1,615	1,633	1,627	1,717	1,710							1,648
	前年格差 271	385	299	234	235	234							212
和牛去勢A2	24年 1,018	1,066	1,153	1,233	1,340	1,315	1,249	1,187	1,238	1,376	1,385	1,466	1,252
	25年 1,180	1,419	1,479	1,508	1,472	1,522							1,430
	前年格差 162	353	326	275	132	207							178

群馬県食肉卸売市場上場頭数

（単位：頭）

年・月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均・計
24年	1,042	932	1,294	1,270	845	1,167	1,467	1,406	1,383	1,336	1,887	1,668	15,697
25年	1,000	1,123	1,025	1,236	929	898							6,211
前年増減	▲ 42	191	▲ 269	▲ 34	84	▲ 269							▲ 9,486

■素牛動向

- ①全農・取引基準価格（乳去）260～300kg 392円/kg（前月比94.0%）
- ②F1価格（去勢）250～300kg 976円/kg中心（雌）250～300kg 906円/kg中心
- ③和牛子牛（去勢）512千円中心（前月比101%）（雌）438千円中心（前月比102%）

養豚情勢

枝肉相場関係

豚群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

（単位：円税込）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
23年(A)		400	473	463	477	460	537	509	473	431	351	384	436	450
24年(B)		390	393	388	397	420	479	443	468	425	365	358	418	412
25年(C)		363	390	404	450	499	485							432
(B-A)		▲10	▲80	▲75	▲80	▲40	▲58	▲66	▲5	▲6	14	▲26	▲18	▲38
(C-B)		▲27	▲3	16	53	79	6							20

豚肉価格形成要因

豚群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間頭数
と畜頭数	24年	43,106	42,665	43,703	41,308	41,048	37,617	38,294	38,608	37,444	46,194	47,808	46,869	504,664
	25年	45,435	40,085	41,826	42,393	40,315	34,599							244,653
前年比(%)		105.4	94.0	95.7	102.6	98.2	92.0							48.5

肉豚生産出荷予測（全国）

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	2月	3月	1～3月	4月	5月	6月	4～6月	7月	8月	9月	7～9月	10月	11月
全国出荷予測頭数(千頭)		1,337	1,386	4,171	1,447	1,421	1,300	4,192	1,350	1,347	1,348	4,045	1,536	1,524
前年同月比(%)		97	97	99	105	102	100	103	103	101	106	103	101	100

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、7月の出荷見込頭数は1,350千頭（前年同月比103%）となっている。その後は8月1,347千頭（〃101%）、9月1,348千頭（〃106%）と予想されている。需要期に入り相場はやや上向くと見られる。需要は梅雨明け以降の後半から徐々に上向き、荷動きが鈍かったバラや肩ロースなど焼肉向け商材が強まる。輸入牛肉の増加を受け、豚肉消費の落ち込みを懸念する声もある。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

13年7月150円（見込み） 94%（前年比）

（単位：円）

価格の推移

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
24年(A)		149	185	178	182	168	161	160	157	176	193	209	230	179
25年(B)		171	190	175	172	164	155							171
(B-A)		22	5	▲3	▲10	▲4	▲6							▲8
全国基金	24年	24.3	4.104	15.318	12.987	20.88	24.3	24.3	23.886	9.648	0	0	0	
補填	25年	18.999	0	9.774	15.714	21.645	24.3							

※平成24年度鶏卵価格差補填事業については、9月以降補填財源はありません。

■価格動向：6月の平均単価は155円（前年同月－6円）と前年同月を下回り、平成24年7月～平成25年6月期平均は179円（前年同期比＋2円）であった。

■出荷動向：老鶏の淘汰を促す「成鶏更新・空舎延長事業」が発動したものの、参加農家が少なく過剰傾向が続いている。

■需要動向：高温多湿の時期に入り需要減が著しくなる。また、下旬から学校が夏休みとなることもマイナス材料となる。

卵価要因

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
加工卵輸入実績(t)	24年	2,356	1,930	2,508	1,781	2,301	2,198	2,403	2,515	2,609	2,762	2,399	1,921	27,683
	25年	1,838	1,961	1,997	2,283									8,079
前年比(%)		78.0	101.6	79.7	128.2									29.2
餌付羽数(千羽)	24年	7,436	7,459	8,065	7,908	7,874	7,780	7,768	7,007	7,534	7,803	7,238	7,314	91,186
	25年	7,215	7,317	7,520	7,742	7,767								37,561
前年比(%)		97.0	98.1	93.2	97.9	98.6								41.2

■餌付見込

※農水省は餌付け羽数見込みを公表しないことになったため、今後、餌付け羽数実績のみ掲載することになります。

■価格の推移

(7) 21年:175円
(1) 15年:151円 (4) 18年:184円 (8) 22年:194円
(2) 16年:173円 (5) 19年:169円 (9) 23年:188円
(3) 17年:204円 (6) 20年:193円 (10) 24年:181円

■原料情勢

①とうもろこし（シカゴ定期）

6月12日発表の米国農務省需給見通しによると、12/13年度産とうもろこしの供給量は、端境期に向けて米国内での需給がタイトになると想定され、飼料向けの輸入が増加すると見られることから、前回発表から25百万ブッシェル増加し、11,919百万ブッシェルとなった。

需要面では、エタノール向けなどの工業・種子用需要が増加したものの、輸出向けが減少したため、全体では15百万ブッシェル増加し、11,150百万ブッシェルとなった。この結果、12/13年度産の期末在庫は769百万ブッシェルと前回発表から10百万ブッシェル増加し、期末在庫率は6.90%となる見通し。13/14年度産の供給量は、期首在庫が増加したものの作付進度が遅れているため、受粉期が暑い時期にあたる可能性があることから、単収が前月の158.0ブッシェル/エーカーから156.5ブッシェル/エーカーへと下方修正されたことから、生産量の減少が予想され、前回発表から125百万ブッシェル減少し、14,799百万ブッシェルとなった。

需要面では、エタノール向けなどで増加が見込まれているものの、依然としてとうもろこし価格が高値で推移していることに加え、DDGSの使用量増加などを反映し飼料向けが減少したため、前回発表から70百万ブッシェル減少し、12,850百万ブッシェルとなった。この結果、13/14年度の期末在庫は前回発表から55百万ブッシェル減の1,949百万ブッシェル（在庫率15.17%）となる見通し。

シカゴ定期は、旧穀の需給が引き続き逼迫していることや、新穀の生育にとって好ましい天候見通しによって、旧穀買い新穀売りが旺盛になったことなどから堅調に推移し、7月限は670セント/ブッシェル付近まで上昇している。

米国産とうもろこしのFOBプレミアムは、現物需給が逼迫していることから堅調に推移している。

②大豆粕

6月12日発表の米国農務省需給見通しによると、旧穀12/13年度については、供給量は輸入が5百万ブッシェル増加する見通し。一方需要量は搾油向け需要が増加したため、前年比5百万ブッシェルの増加見通し。この結果、期末在庫については前回発表と変わらず、125百万ブッシェル、在庫率4.05%のままとする。

新穀13/14年度の大豆需給見通しは、前回同様、生産量が3,390百万ブッシェルとなる見通し。需要量も前回同様の3,264百万ブッシェルとなる見通し。新穀13/14年度の期末在庫は前回同様の265百万ブッシェル、在庫率8.12%のままとされている。

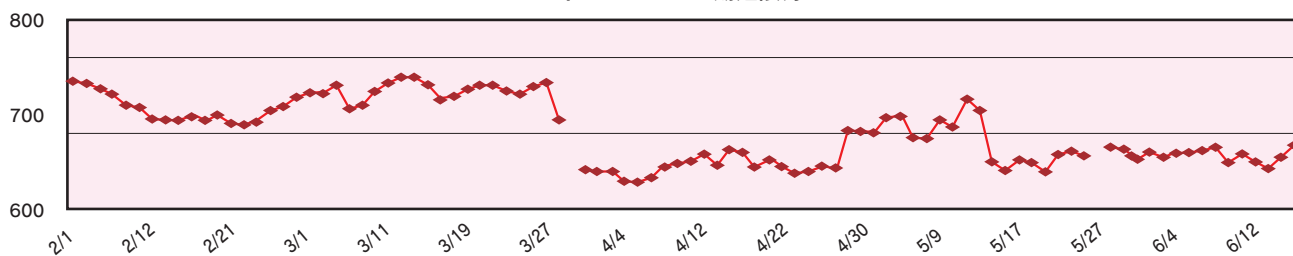
大豆粕のシカゴ定期は、5月初旬は410ドル台で推移していたが、現在は450ドル前後となっている。

■海上運賃

米国ガルフー日本間のパナマックス型海上運賃は、船腹過剰感から用船料相場の下落基調が続いていたが、先週から欧州向けの貨物荷動きが堅調になっており、引き合いの増加によって上昇傾向にある。現在は40ドル前半で推移している。

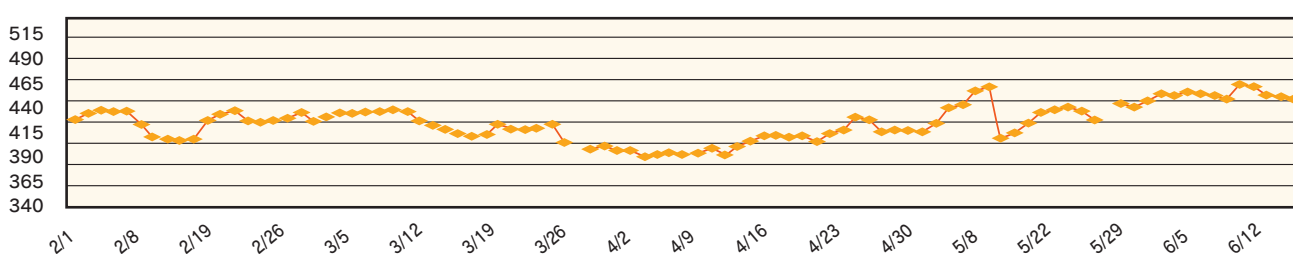
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



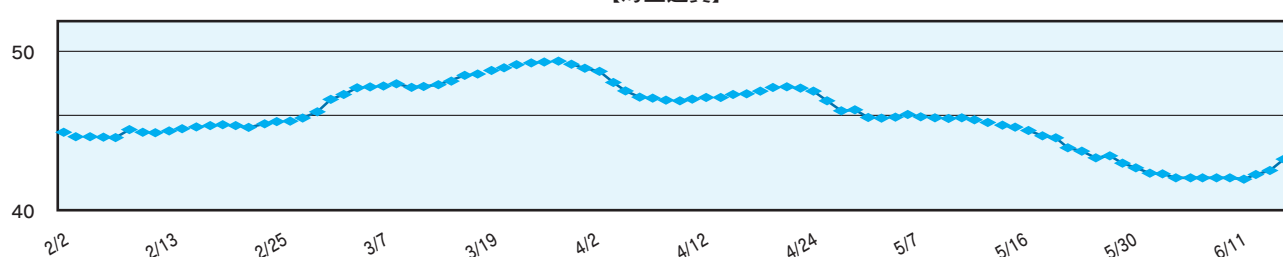
セント/ブッシェル

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！

花木流通センターの営農相談コーナーでは、家庭菜園から営農相談まで、相談員が駐在し肥料・農薬・花・野菜品種等について指導を行っております。特に平成18年の農薬の「ポジティブリスト制」施行後、農薬に関する相談が増えており、常に最新の情報を入手し、相談にお答えしております。お気軽にお立ち寄りください。



営農相談コーナーの様子

8月の売出し・イベント案内

開催日	内容
8月9日(金) ～8月15日(木)	お盆フェア
8月25日(日) 10:00～	秋冬野菜定植講習会 (ブロッコリー・キャベツ・白菜の定植と大根のは種) 【参加費無料・申込み不要】
9月1日(日) 10:00～	秋冬野菜定植講習会 (ブロッコリー・キャベツ・白菜の定植と大根のは種) 【参加費無料・申込み不要】

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

花木流通センター

営業時間:年中無休/9:00～18:00

(節電のため7月～9月毎週火曜日定休)

取扱商品

- 園芸資材館/営農・園芸資材等
- ふらわーらんど/鉢花、花木、盆栽等
- JA植木コーナー/緑花木、盆栽等
- エクステージ/外構・造園工事等
- ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等
- 外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先 TEL:027-220-2427 FAX:027-220-2424 前橋市亀里町1307-1

愛菜館

営業時間:毎週火曜日定休/9:00～18:00

取扱商品

- 産直野菜
- 農産加工品
- 店頭精米等



お問い合わせ先 TEL:027-210-7788 FAX:027-210-9811 前橋市古市町106-1

JA全農ぐんま グッドぐんまの旬の市

営業時間:毎週木曜日定休/AM10:00～PM18:00
土日は群馬県農畜産物のPRイベント、平日は県特産品の販売をしています。



- 電車/
東武伊勢崎線
「浅草駅」より
徒歩3分
- 地下鉄/
東京メトロ銀座線
「浅草駅」より
徒歩3分

お問い合わせ先 〒111-0032 東京都台東区浅草一丁目34番4号
TEL:03-3844-0830 FAX:03-3844-0837

旬の市 8月のイベント案内

8月3日(土)	JA婦恋村 キャベツの日フェア
8月10日(土)	群馬県産漬物フェア
8月31日(土)	野菜の日キャンペーン・地酒フェア

※イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番

「県本部通信」係まで

E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp

※JAメール等でも結構です。

プレート
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



なすのトマト煮込み

材 料

4人分

(1人前115kcal)

なす	3本
片栗粉	小さじ1.5
A 豚ひき肉	80g
玉ねぎ(みじん切り)	1/2個
トマトソース	大さじ1
塩・コショウ	各少々
ドライバジル	2~3枚
トマト缶	1/2缶
コンソメスープ	150cc
赤ワイン	50cc
B パプリカパウダー	大さじ1
トマトピューレ	小さじ1
塩・コショウ	各少々
ドライバジル	少々

作り方

- 1 なすはヘタを切り1cm程の輪切りにし、横半分にカスタネット状に切り込みを入れる。
- 2 切り口に片栗粉をまぶす。
- 3 ボウルにAの材料を加え、よく混ぜる。
- 4 3を2のなすに挟む。
- 5 4を鍋の底に平らに並べ、Bの材料を入れた後、落し蓋をして弱火で煮込む。
- 6 器に盛りドライバジルのせん切りを散らす。